

講習の名称：音楽科授業開発のための知識

担当講師：中里 南子（教育学部准教授）

講習開講日：令和2年12月19日（土）

時間数：6時間

主な受講対象者：

小学校教諭，及び音楽科授業開発に関心の深い中学校教諭。音楽科の教諭だけでなく，音楽に関する授業に関心のある者，また，現在の音楽科教育の現状と課題を見つめ直し，新たな授業開発を試みようとする者の受講を期待します。

キーワード：音楽づくり，鑑賞活動，我が国の音楽，実践

講習の概要：

新学習指導要領では，音楽に対する感性を働かせ，他者と協力しながら音楽表現を生み出したり音楽を聴いてその良さなどを見出したり，更には，我が国や郷土の音楽に親しみよさが味わうことができるよう，我が国の音楽の充実化がより一層図られている。本講義では，主に他者と協力しながらの音楽づくりや鑑賞活動，我が国の音楽に焦点をあて，どのように指導していくべきか，教材研究を行いながら，参加者で議論し考えていく。更には具体的な教材に即した実践的な内容を取り扱う。

講習の展開：

- 第1時限 音楽づくりの意義－学習指導要領から
- 第2時限 音楽づくりの構造と実践－「音」から「音楽」へ
- 第3時限 鑑賞活動の在り方－主体的で対話的な活動を目指して
- 第4時限 伝統的な音楽と歌唱指導の在り方－実施と考察

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

最新の学習指導要領をご一読いただけますよう，お願いします。

授業の形式：

講義，演習，発表。可能な場合には，討論の時間も組み込みたいと考えています。

履修認定試験：

論述形式の筆記試験を課します（ノートと配付資料は持ち込み可）。

テキスト・参考文献：

- ・小学校学習指導要領解説 音楽編：文部科学省をお持ちください。